

令和 7 年度第 1 回南外地域協議会会議録

令和 7 年 5 月 2 2 日

南外地域協議会

令和7年度第1回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■職員紹介	2
■協議	3
○南外地域における令和7年度地域づくり関連事業の説明について	3
1) 令和7年度南外地域彩色千輪プロジェクト事業	3
2) 令和6年度地域枠予算実績及び令和7年度地域枠予算事業	6
■閉会	9
■署名	9

令和7年度 第1回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和7年5月22日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 8名

伊 藤 伝 悦、 伊 藤 真紀子、 加 賀 正 夫、 加賀屋 由 香、
風 口 宏 子、 佐 藤 正 行、 進 藤 覚、 相 馬 静 華、

■欠席委員： 6名

伊 藤 正 人、 伊 藤 悠、 今 野 徹、 佐 渡 敏 夫、
佐 藤 喜八郎、 高 寺 衛

■出席職員： 7名

○南外支所職員

佐々木 満智子（支所長） 小松 亮（市民サービス課長）
高橋 勉（農林建設課長） 堀井 みわ子（公民館長）
菊地 明憲（地域活性化推進室副主幹） 照井 真央（地域活性化推進室主事）
能條 恵美子（地域活性化推進室・地域おこし協力隊）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 南外地域における令和7年度地域づくり関連事業の説明について
 - 1) 令和7年度南外地域彩色千輪プロジェクト事業
 - 2) 令和6年度地域枠予算実績及び令和7年度地域枠予算事業
- 4 閉会
- 5 署名

(18時00分 開会)

○菊地地域活性化推進室副主幹（以下「地域活性化推進室副主幹」と表記）

皆さま、本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから「令和7年度 第1回南外地域協議会」を開会いたします。

それでは議事に先立って、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは。令和7年度の第1回目の地域協議会ということで、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

今まさに新緑の真っ最中で、田んぼも本当に忙しい時期でもありますし、また山が好きな方は、山菜採りが真っ最中なのかなと思います。

ですけれども、小学校から時々メールが入ってくるのですが、どこどこで熊が出たとか、猿が出たとか、いろいろな情報が入ってきますので、つい先日は物度台に熊が出たということで、最近、今年は特に熊の出没が多いようですので十分お気をつけていただきたいと思います。

それから、4月30日に南檜岡コミュニティセンターの竣工式がありまして、参加してまいりました。とてもきれいに建てられた施設で、これから皆さんの使用が期待される場所だと思います。時々顔を出して、拠点としての活用をお願いしたいと思います。

それから、先日の新聞に出ておりましたが、南外さいかい市が非常に今注目を浴びているところで、先月には地域おこし協力隊の方が新しく配属されてさいかい市の方にお手伝いするというので、非常に大仙市の地域の方々に注目されています。こうやって無料送迎という厚生医療センターへの無料の送迎をやるというような地域のためにいろいろな事業を展開していくということで、非常にうれしく思います。これからはいろいろな施策をしていただいて地域の皆さんに貢献していただければというふうに思いますので、私たち地域協議会の委員におかれましても、いろいろとアイデアを出していただいて、南外地域の活性化につながるような事業が展開出来ればいいのかなと思っていますので、どうかご協力の方よろしくをお願いします。今日は、第1回目の協議会ということで最後までよろしくお願いいたします。

○地域活性化推進室副主幹

ありがとうございました。それでは議事に入らせていただく前に、佐々木満智子南外支所長より今年度の地域協議会に関係する支所職員を紹介させていただきます。

○佐々木支所長（以下「支所長」と表記）

4月の人事異動により南外支所長を拝命いたしました佐々木と申します。令和2年度から4年度まで市民サービス課長として、務めさせていただきましたがこの3年間は、コロナ禍で会議やイベントの実施が難しい時期でありました。地域づくり関連事業においても、

実施できなかった事業が数件あったと記憶しております。

本日、令和7年度の地域づくり事業について、ご協議いただくわけですが、委員の皆様には南外地域のために活発な活動を展開していただき深く感謝申し上げます。

市といたしましても、市民の皆様と一緒に、地域の課題解決や活性化に取り組んでまいりますので、委員の皆さまには引き続きご理解とご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

今年度の1回目の協議会ということで、南外支所、地域協議会に関係する職員を紹介させていただきます。

【職員紹介】

○地域活性化推進室副主幹

それでは議事に入らせていただきます。

本日の出席予定委員数は8名で、過半数に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして3件であります。

また、会議録作成のため録音させていただくことを、あらかじめお断り申し上げます。

なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは、協議会を始めます。

議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。伊藤伝悦 委員と伊藤真紀子 委員にお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。議題①「令和7年度南外地域彩色千輪プロジェクト」事業について、事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室副主幹

それでは、南外地域「彩色千輪プロジェクト」の内容について、説明したいと思います。

昨年からお伝えしているとおり、「彩色千輪プロジェクト」は当初、令和3年度に「地域の拠点」の設定と地域の方向性の決定を行い、翌4年度から6年度までの3カ年で実施する事業とされていましたが、南外地域だけでなく市全体をとおしても継続されている事業などもあることから、令和7年度以降も継続されていくこととなっております。

今年度の南外地域の彩色千輪プロジェクトも「定着」と「継続」を念頭に置きながら、昨年度実施した事業をブラッシュアップして、継続できるような形に整えていきたいと考えています。

それでは、今年度実施予定の取り組みについてご説明いたします。資料1「令和7年度南外地域彩色千輪プロジェクト事業計画」をご覧ください。

この事業計画については、前回の協議会でも示させていただいておりますので、前回からの変更点や、事業に進捗のあるものを抜粋して説明させていただきます。

はじめに南檜岡コミュニティセンターでの防災関連イベントの実施です。

先ほど佐藤会長からお話がありましたけれども、皆さんご存知のとおり、「南檜岡コミュニティセンター」が5月1日から供用開始となっております。支所としては、檜岡地域の防災拠点というように考えており、この施設を活用して地域の皆さんの防災意識の向上や有事の際にスムーズな避難等につながるような体験型のイベントの実施を予定しています。

配布している資料1-2、イベントチラシ案をご覧ください。

こちらは、防災イベントのチラシ案となりますが、開催日程は7月5日（土）を予定しています。内容としては、施設に常備されている防災備品や防災あずまの展示、西分署員によるAED講習会、南外地域では初めての出演となる「大仙市消防団音楽隊」による演奏会などとなります。

また、大曲消防署西分署の皆さんにも全面的にご協力いただく予定で、AED講習会のほかにも、西分署を第2会場にして「はしご車乗車体験」や「放水体験」なども実施していただく予定です。

内容については、現在調整しているところもあるため、若干変更になる点もありますが、こういった方向性での開催を予定しております。当日は、協議会の皆さんもご招待させていただく予定ですので、ぜひご参加いただければと思います。

また、「南檜岡コミュニティセンター」については、檜岡地域の活動の拠点というような位置づけでもあるため、今年度も2回予定としている「きよてんまつり」の一環として実施するため、1回目の「きよてんまつり」というように考えております。

続いて、資料1-1に戻りまして、地域おこし協力隊活動関連事業についてです。つづいては、中段にあります「地域おこし協力隊活動関連事業」です。

資料2地域おこし協力隊活動紹介をご覧ください。先ほど支所長からご紹介がありましたが、4月1日付けで南外支所地域活性化推進室に地域おこし協力隊として、能條恵美子さんが着任されております。

能條さんは、当地域と隣接している神岡地域のご出身で、高校卒業後に上京され、主に経理事務や医療事務などを経験されてこられた方です。

協力隊として活動は、主に「南外さいかい市」の各種業務に係るサポートを予定しております。

「南外さいかい市」も今年で6年目を迎え、その間スタッフの新規加入などもありますが、開店当初から携わっているスタッフも併せて年を重ねてきていることもあり、経理や事務面での不安の声をいただいております。

能條さんには、そういった事務や経理など、さいかい市の運営面で負担が大きくなってきた業務のサポートをお願いしたいと考えております。

その他にも、資料の下の方にはありますが、地域内で行われている事業やイベントへの参加や企画・PRなどにも積極的に取り組んでいただく予定です。

直近の目立った活動としては、裏面にある資料にありますが、さいかい市で実施している「高齢者の通院支援」事業のなかで実施している、利用者が受診している待ち時間を活用した「出張販売」のお手伝いをしているところです。

資料の左下をご覧くださいと思いますが、市としてもこの「通院支援」という取り組みに対して、今年度から燃料費や保険料の一部補助としてサポートしていく予定です。過疎・高齢化については、南外地域だけのことではなく、他の地域でも目をそらすことの出来ない課題となっています。この取り組みが各地域のモデルとなるように支所としてもサポートを継続していきたいと考えております。

協力隊の話に戻りますが、能條さんには「さいかい市」のサポートの他にも、各自治会など地域活動にも携わっていただきたいと考えております。委員の皆さんからも、各地域や自治会で実施しているイベントや新たなイベントのアイデアなどを一緒に考えていただいて、取り組んでいきたいと思いますので、協議会の際や直接支所へでも結構ですので、良い案がありましたらご提案いただきたいと思います。

つづいては、管内保育・教育機関との連携強化「地域とつながる！」プロジェクトについてです。

今年は、1年生が「徳五郎翁継承事業」、2年生があきた元気ムラ大交流会での「南外ミニさいかい市」、3年生がミニコミ誌「ZINE」づくりを予定しております。

前回の協議会時は、1年生と3年生が逆の内容になっておりましたが、学校側との調整もあり、このように修正しております。

事業の開始としては、来週22日に2・3年生を29日に1年生の最初の授業を行う予定です。「徳五郎翁継承事業」については、内容が決まっておりましたが、今年度は徳五郎翁が遺した約100話の昔話を題材にした「堀井徳五郎昔ばなしかるた」の作成を予定しております。

昨年、堀井徳五郎翁顕彰会の伊藤寛雄会長や、大仙民話の会の倉田会長など関係者を集めて実施した「堀井徳五郎翁」の座談会のなかで、なかなか今の子ども達に「昔ばなし」や「方言」に興味を持ってもらうのは難しいというようなお話がありました。

そこで、最初のスタートとして「かるた」という昔からある、遊びの中から興味を持ってもらうことは出来ないかと考えました。

「昔ばなしかるた」は、作って終わりではなく、出来たものを南外小学校へ寄贈したり、小・中学校の交流事業として「かるた大会」の実施や、「高齢者サロン」時に「かるた」をとおして、利用者と中学生の交流なども検討しております。

この他の事業に関しては、前回ご説明していることから現時点で変更しておりませんので、今後の協議会で事業の進捗状況に合わせて、その都度説明させていただきます。

以上で、議題①について説明を終わります。

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

【質疑無し】

ないようですので、ここでこの議題に関する話し合いを終わりたいと思います。

続きまして議題②「令和6年度地域枠予算実績及び令和7年度地域枠予算事業」について事務局より説明をお願いします。

○照井地域活性化推進室主事（以下「地域活性化推進室主事」と表記）

令和6年度地域枠予算実績及び令和7年度地域枠予算事業について、説明させていただきます。初めに資料3、1枚目の地域枠予算決算状況一覧をご覧ください。

事業ごとの内容については、前回の協議会の際に説明させていただいておりますので、詳細は省略させていただきます。

資料についてですが、事業名の下に実施日または実施期間を記載しております。

それでは、前回の協議会後に、実績が確定した事業を抜粋して説明させていただきます。

No.1. 3. 8が該当事業です。No.1の南外桜守り事業については、2/25～3/21まで業務をを委託し、実績額が398,200円の支出となりました。

次にNo.3の南外中学校「地域とつながる！」プロジェクトです。前回の地域協議会後に消耗品費として14,559円追加の支出があったため、実績額が248,641円となっております。

最後にNo.8の「檜岡城址景観保全・継承事業」です。こちらの景観保全活動自体は、10月に完了しており、冬季作業は有りませんでしたが、通年の事業となっているため活動報告が3月となっています。活動の際に使用する車両や除草剤散布機の借り上げ料として80,000円の支出を予定しておりましたが、59,800円の支出となりましたので、実績額は178,720円となっております。

その他の事業については、前回と変更ありません。その為、令和6年度の地域枠予算の合計実績額は、前回お示しした見通し額よりも6,841円の減額となり、合計で5,130,506円となります。

関連がございますので、令和7年度地域枠予算執行計画についても続けて説明させていただきます。

資料3の2枚目をご覧ください。4月から現在まで申請のあったものや、すでに事業に取り掛かっているものは、資料4の事業説明書にまとめておりますので、こちらも併せてご覧ください。執行計画の予算額は実際に予算確保している額となるため、事業説明書の予算額とずれているものもありますのでご了承ください。

また、彩色千輪プロジェクトに関連する事業については、先程菊地の方から説明させていただいておりますので、詳細については割愛させていただきます。

それでは上から順に説明させていただきます。

No.1.2については、市が事業を実施する行政主導型となります。彩色千輪プロジェクト関連事業となりますので、予算額のみを紹介とさせていただきます。

始めにNo.1南外中学校「地域とつながる！」プロジェクトです。事業説明書は1ページ

になります。予算の内訳は、講師謝礼や印刷製本費などで、予算額272,000円となります。

No.2「地域の居場所づくり」事業です。事業説明書は2、3ページになります。

予算の内訳は、講師謝礼や事業の消耗品費などで、予算額70,000円となります。

南外地域社会福祉協議会からも事業費を合同で支出しており、講師謝礼や休憩時のお菓子やお茶代、46,340円の支出を予定しております。

続いてNo.3から8までは、市と市民が協働で事業を実施する市民協働型となります。

No.3 南外桜まつり開催事業です。今年から桜守り事業と集約し、行政主導型から市民協働型へ移行しております。ここで資料の訂正をお願いいたします。執行計画では、実施者が「市」となっておりますが、「桜まつり実行委員会」となります。「市」全体の方針として地域のイベントを市民の方々を中心に行っていただくこととするため、市民協働型への移行となりました。事業説明書は5ページとなります。

予算内訳は消耗品費や手数料、委託料などで、予算額706,575円となっております。

なお、4月20日に実施予定だった第11回南外桜まつりですが、当日実行委員会での協議の末雨天のため中止となりましたが、桜の剪定作業等の委託料の支払いが年度末となりますので、予算額のみを紹介とさせていただきます。年度末に確定してから実績額を報告させていただきます。

No.4 環境整備活動事業です。事業説明書は、4ページとなります。

地域枠予算で保険料と草刈り機等の借りに係る経費を賄い、各自治会からは労力を提供してもらい、共同で地域の環境の美化を行う事業です。今年もすでに各自治会に通知済みで、現在、事業計画書の取りまとめを実施しております。予算額は、草刈り機等の借上げ料が主となりますが、合計で1,069,000円となります。

No.5 南外地域運動会開催事業です。

こちらは、例年開催している地域住民が一堂に会した合同運動会を開催する事業です。

こちらの事業についても、先程菊地の方から説明がありましたとおり、予算額は、300,000円となります。

No.6 南外地域花いっぱい運動です。事業説明書は6ページになります。

こちらも例年行っている継続事業で自治会等に花苗を配付し、植栽することで地域環境の美化を図るものです。今年は3,000本の花苗の配布を予定しており、予算額は273,000円となります。

No.7 檜岡城址景観保全・継承事業です。事業説明書は7ページになります。

内容は檜岡城址の環境整備活動の他、檜岡城の魅力を地域内外に広める活動を行うもので、昨年度からの継続事業となります。予算額は、草刈り機械等の借上げ料などで、合計187,000円となります。

No.8～15までは補助金交付型の市民主導型となります。

No.8 南外小唄まつり開催事業です。南外小唄のコンクールや舞台発表を通じて、郷土への愛着を深めることを目的に実施している事業で、予算額240,000円となります。

No.9 南外盆踊り開催事業です。例年お盆時期に開催しているイベントで、地域住民が参加できる盆踊りをとおして、交流を深め郷土愛を高めるきっかけを作ることを目的にした事業で、予算額200,000円となります。

No.10 ふるさと南外の会を応援する会活動補助事業です。地域住民とふるさと南外の会との交流事業を開催し、地域の活性化を図るものです。今年度の予算についても、市内全地域一律で200,000円となっております。

No.11 自然と食を考えるイベント開催事業です。自然農法などの勉強会を南外もぐらの会が実施している事業で、今年も開催を予定しておりますが、今年度は11月を予定しております。予算額は、300,000円となっております。

No.12 木工体験事業です。あきた里山プラスが実施する事業で、昨年度からの継続事業となります。今年度はNo.11との同時開催を予定しております。予算額は100,000円となっております。

No.13、14については、「地域の拠点」関連イベントとなり、菊地の方から説明させていただきましたので、内容は割愛させていただきます。予算額はいずれも300,000円となります。

No.15 さなぶり酒花火事業です。こちらは、南外地域の地域イベント補助事業です。事業説明書は、8ページになります。

今年度は、6月7日（土）に開催予定で、今年も打ち上げ花火のほか、キッチンカー等の出店、お笑い芸人のサンシャイン池崎さんの出演等が予定されております。予算額は、1,500,000円となっております。南外地域の基幹イベントですので、ぜひご参加いただければとおもいます。

以上の通り今年度は、行政主導型2件、市民協働型5件、市民主導型7件、地域イベント応援型1件の計15件の事業を予定しており、当初の予算額としては、合計で6,018,000円となります。

議題②についての説明は、以上となります。

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

【質疑無し】

ないようですので、その他に入ります。特に事務局から何かございませんか。

○支所長

【その他】大仙市西部地域協議会合同研修会についての説明。（R7当番：南外地域）

○会長

そのほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。無いようですので、本日の協議会はこので終わりたいと思います。次回の会合は、後日事務局を通じてお知らせします。
これをもちまして、令和7年度第1回南外地域協議会を閉会します。

(19時00分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 伝悦

伊藤 真紀子
